

## オレゴン州：小麦作柄と気象状況

2002年6月4日

前週の平均気温は平年を1～9度F上回った。北中央地区のペンデルトン市の最高気温は83度F(28.3度C)であった。これは平年を4度上回る。北中央地区を含め各地で多少の降水を記録した。但し、昨年9月1日からの累積降水量は各地で平年を下回っており、北中央地区では2インチ以上、ウイラメット盆地でも1インチ程平年を下回っている。コロンビア・ベイスンの冬小麦の一部は、前週の降水で多少改善したが、シャーマン郡の冬小麦の5%は回復不能と報告されている。ウマティラ郡北部の冬小麦は降雨により改善した。ギリウム郡の生育不良の冬小麦は圃場への鋤込みが行われた。同郡南部の春小麦は今後の降雨で改善する可能性は十分残って居る。ウイラメット盆地を含め全州冬小麦の70%が出穂した。昨年同期では45%、5年平均では54%である。乾燥と気温の上昇が冬小麦の生育を早めている。

2002年6月2日現在：

土壌水分状況：

Topsoil (%)	19	40	41	0
Subsoil (%)	27	31	42	0

小麦作柄：

	Very poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Winter wheat (%)	34	23	27	14	2
Spring wheat (%)	na	na	na	na	na

作物進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5 -yr Ave.
Winter wheat Headed (%)	70	33	45	54

Source: Oregon Agricultural Statistics Services